

平成 30 年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時 平成 30 年 10 月 22 日（月） 午後 6 時 30 分～8 時 30 分

場所 瑞穂コミュニティーセンター

参加者数 55 人

市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	教育長	近内 栄一
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	保健福祉部長	若杉 勝博
	経済部長	後藤 正紀
	建設水道部長	吉田 育夫
	学校教育課長	佐藤 清理
	企画振興課長	西野 成紀
	財政課主幹	高田 敦子

【市長 開会のあいさつ】

山の色も変わり、紅葉のなかで赤や黄色が目立つ時期になってきました。高い山並みには白く雪化粧もはじまる時期となり、夜分は寒さも厳しくなってきました。今日はこの会館で地域懇談会を開催させていただきます。瑞穂町、花園町、錦町、新光町、住吉町、東雲町と広い範囲となっていますが、大勢の市民のみなさんに集まっていただきお礼を申し上げます。

5月に就任してから5カ月が過ぎますが、この間、様々な方々と出会い、そして出会いの場を設けながらまちづくりに対する様々なご意見をいただいています。今日は、この地域での地域懇談会ということで、富良野市が課題としている「JRの問題」「新庁舎の問題」について、それぞれがこの間、議論してきたこと、市の考え方と経過などについて説明をさせていただきます。そのうえで、みなさんからご意見をいただき、富良野市にとって、あるべき姿やかたちを判断する材料にさせていただきますしたいと思います。

行政は昔と違って、行政が主導で動くのではなく、大勢の市民のみなさんに参加をいただき、共に互いの役割を果たしながらまちをつくっていく時代です。そうした意味から、この地域懇談会は大事なものと理解をしています。限られた時間ですが、忌憚のない意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 鉄路のあり方について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○鉄路は関心をもって勉強してきた。特に根室線の富良野―新得間は、新聞紙上からは廃線に進んでいるように見える。富良野だけの動きではなく、新得町主催の十勝集会在帯広市で開催された。このとき、富良野市はどのような対応をしていたのか。市の担当者だけの動きしかない。市民はどうやって動いたらいいのかわからない。市のことぶき大学でも研究をしていて、7月に根室線の富良野―幾寅間に体験乗車した。行きは11時で11人が乗車、帰りは14時で16人が乗車していた。ほとんどは旅行者。アンケートをとったが旅行者なので関心がない。このような状況では非常に難しい。観光資源を有効利用するようなことを考えてはどうか。</p>	<p>○新得町の十勝集会在11月6日に開催されます。民間主体ですが町村会としても各市町村の首長が参加を予定しています。富良野―新得間については、当初、道が示したものに対して、道議会や町村会の議論が反映され、輸送密度が150人台で厳しい状況ですが、存続の可能性として、帯広から札幌方面に行く石勝線が不通になったときの代替ルートとして残すべきではないか。日常の利用は少ないですが、富良野―トマム―サホロの3つのリゾート地帯を周遊できるような観光の可能性を北海道や観光協会、経済団体と模索している状況で、富良野市としてもこの動きに参加していきたい考えです。</p> <p>○行政だけの動きになっているとの指摘も認識しています。市としては1年に1回以上、鉄路を存続するための講演会を開催していますが、気運の醸成ができていないことが課題と感じています。</p> <p>○十勝―南富良野間については、南富良野町、新得町、白糠町が決起集会を行い、観光や物流のための鉄路存続に向けて団結していくとの動きもあります。</p>

○JR北海道は、貨物輸送は有益で儲かっているので維持すると思う。客を運ぶ面では便利でない。札幌に行くときは朝一番に乗らなければならない。帰ってくる時は朝一番と昼過ぎになる。出張も観光も不便。JRの利点は定時刻に着くこと、渋滞がないことだが、最近は運休が多い。貨物は農作物の輸送では必要。便利じゃない乗り物はなくした方がよい。自治体が財政支援をしてJRを助ける必要があるのか。財政支援は我々の税金。車もあるしバスもある。JRは民間企業、国や行政が支える必要があるのか。JRが赤字をなくすのを努力したら良い、赤字路線をなくすのであればなくせばいい。JR北海道は新幹線のことでは頭がいっぱいだと思う。

○北海道新聞の記事で北海道地図にJRの路線がでて色分けされているが、鉄路は一度廃止したらそれまで。市町村が力を入れるより国が一番力をいれるべき。民営化の分け方が良かったのか、地域住民だけでは解決しない。乗って守ろうというのが便利が悪いので乗らない。鉄路そのものがどうあるべきかという国への働きかけが大事。北海道の態度もはっきりしない、知事の考えも出ない。市の考えは理解するが、そのほかに市として働きかけをしていく必要がある。

○鉄路は3路線とも同等に考えているのか。JRは廃線するにも300億円かかるという。その負担も地元にくるのではないのか。廃線してバスに転換した際に試算しているが、廃線にしたときもかなりの負担になるのではないのか。

○廃線を検討しているところには、国が筆頭株主なので国が責任を果たすべきだと求めています。北海道も国の方向をみてどうあるべきかを検討していますが、JR北海道は基本的に、自力で改善する方策を考えるべきだといっています。紋別市は過去に廃線になっていますが、もう少し頑張るべきだったと話しています。そうしたことをききながら、基本的には残したいという考えです。最終的な結果はまだわかりません。

○富良野一滝川、富良野一新得、富良野一旭川と3路線がありますが、根室線対策協議会は、新得から滝川までの沿線自治体で組織していますので、路線で分けて考えてはいません。実際には、幾寅一新得間が運休していて非常に危機感がありますので、同じ協議会でも別に動いている状況です。

2. 新庁舎建設について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○新庁舎は現在の場所に新しく建つ計画だが、空知川の水害は検討委員会でどのように検討しているのか。</p>	<p>○基本構想は現在位置での建替えを想定していますが、理由は、駐車場を含めて広い敷地が必要になりますので、土地の取得にかかる経費が多額になるということ、50年近く現在位置にあり、認知度の高さ、交通の便などがあ</p>

<p>○新庁舎は、今後の少子化や人口減少を見込んでコンパクトに設計するのは良いが、市の職員体制もコンパクト化するように検討してほしい。</p> <p>○今年の文化協会の総会で、文化会館の使用料が高くて使いづらいという意見がでていた。建物が新しくなって使用料が高くなると市民は使いづらくなるので考慮してほしい。</p> <p>○文化会館を建て直すのはありがたい。有識者が入っているのであれば楽器の演奏ができる設備を備えてもらいたい。</p>	<p>ります。100年に一度の洪水が発生した場合、浸水は50センチと想定しています。このため、今よりも若干高くし、地下にある電気系統や臨時の外部電源も上の階に上げるなどを加味して検討します。</p> <p>○委員会のそれぞれの担当部会に伝えたいと思います。</p>
---	--

3. 防災体制について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○東中学校は耐震性能がないときいているが、震度の基準はあるのか。</p> <p>○地震と停電など、災害時の備蓄は何日分くらいあるのか。避難した場合は何日分か。</p> <p>○今回の停電では、広報車でふれあいセンターへの避難を周知していたが、民生委員からは、聞こえなかった、足が悪い人はいけない、ふ</p>	<p>○東中学校は国の耐震基準に準じた耐震化の改修工事を完了していますので、耐震性のある施設になっています。</p> <p>○耐震化未実施の学校は、山部中学校と樹海中学校の2校です。この2校は生徒数が少なくなってきて、学校の統廃合の動きがあるため、現在耐震化未実施のままとなっています。</p> <p>○毛布は500～600枚あります。食料はアルファ米といって水だけで調理できる非常食があります。振興公社とは500～600食を用意できるような体制をとっています。避難の会場は学校を想定しています。東小や東中は外部電源で対応できるようになっていますが、他の学校についても外部電源の対応ができるようにしていきたいと思います。備蓄は具体的に何日分とは申し上げられません。</p> <p>○民生委員の意見もいただいています。要避難支援者ということで、独居高齢者、障がい者の方々は直ぐに把握できるようにしていま</p>

れあいセンターがわからない、などの意見があった。高齢者の避難について考えてもらいたい。

○金山ダムがあるが、大雨による緊急放水の二次災害が不安。ダム管理に問題はないのか。

○コミセンには配電盤に発電機の受け口は付いているのか。高齢者や障がい者は近いところが集まりやすい。電気があれば暖房をとることができるのでお願いしたい。

す。今回は、広報車が回りましたが、足りなかったということは反省しています。ラジオ、安全安心メールなど、様々な方法で情報を提供していきたいと思います。

○四国で緊急放水による死亡事故が発生しました。市でも平成 28 年度に金山ダムで緊急放水の危険があることから山部で避難をしていたことがあります。このことから、空知川の河川計画が見直しされ、整備が行われています。大雨が近づいてくると予想されるときは、国の基準に基づき、何日か前に放水しています。市と札幌開発建設部、金山ダム、空知川のダム事務所と連携をとり、不安のないように対処していきたいと思います。

○平成 28 年度は、夜 11 時に金山ダムから連絡があり、放水量が増えると山部の国道から下が危なくなるかもしれないということで、避難をした経過があります。開発からは事前に連絡をいただいて早めの対応ができていますので、今後も問題なく対応できるものと思います。

○学校は外部電源を接続する盤を設置していますが、地域のコミセンも時間はかかりますが対応を考えていきたいと思います。

4. 地域医療と福祉について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○全国で高齢者の遺産は 143 兆円あり、2 年後には 200 兆円になるといわれている。高齢者が増えると認知症の方が増えてくる。健常のうちから支援していく必要がある。成年後見について市はどのように考えているのか。後期高齢者が増えると認知症が増えて喫緊の課題。安心して暮らせるまちをつくるとはどんな支援体制か。何でも相談ができる窓口をマルシェ 3 のなかにつくってもらいたい。</p>	<p>○これから高齢者が増えると認知症の方も増えてきますので、市では成年後見を含めた権利擁護センターのような組織の立ち上げ、単身高齢者や高齢者夫婦を支援していきたいと考えています。</p>
<p>○地域センター病院で医者が不足している。親戚や身内、友人に大学病院を退職した医者や医師免許は持っているが働いていない医者も</p>	<p>○地域センター病院は富良野圏域の 2 次医療を担っています。医師不足は危機的な状況です。平成 19 年に移転改築した当時は 27 名の医師</p>

いるのではないかと。安定期に入った患者であれば十分診てもらえる。そうした医師確保を市民全体でできないか。

がいましたが、現在は19名となっています。4月からは内科医はすべて出張医となり、患者が他の病院に流れている状況です。出張医にかかる経費は膨大でセンター病院全体で4億から5億円となっています。市では、一番経営を圧迫している内科医の確保に全力をあげています。圏域としては小児科と産科を確保し、地域で産み育てられることを5市町村で支援をしています。医師確保は、病院側も動いていますが、医局や大学の関係で簡単に確保できない状況です。市民全体で人脈を活用することも必要だと思います。医師の人材派遣会社の経費も高額です。いろんな情報を市にいただいて動いていきます。看護師も奨学金の返済が終わると転出してしまいます。医師や看護師が働く労働環境も非常に大きな要素になりますので、病院を利用する市民も、医師や看護師に過度な負担をかけないように理解し、市民みんなが地域センター病院を守っていくという意識が必要だと思います。

○地域福祉計画に検証システムを導入したが機能していない。前年度の実績を検証し、次の年をどうするかを検討する必要がある。法律や制度が変わったら直ぐに対応しなければならない。地域福祉計画は、障がい者、子ども、年寄りなど、すべての市民に関係があるので迅速に対応してもらいたい。

○地域福祉計画は平成28年度に策定したときに検証システムをつくりましたが、昨年、今年と作業の遅れが生じていることをお詫びします。上半期が過ぎてしまいましたが、早々にご案内して、進捗状況を点検していただきたいと思っています。

5. 地域の課題について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○新光町は水害の頻度が高くなっている地域。北1号川とベベルイ川の合流点に水門を作ったが、当時はポンプを設置する約束だったが今でも設置されていない。大雨になると業者からポンプを借りてきて排水している。毎年連合町内会で要望しているので設置してもらいたい。</p>	<p>○2年前にベベルイ川の水位が上昇し、北1号川側の水門が閉まり、道路が冠水しました。そのときに市の対応が遅れ、ポンプがなくて不安な思いをさせました。その反省を踏まえて、市でも発電機とポンプを購入し、早めにポンプ設置をする対応をとっています。市では門が閉まるとすぐに冠水する箇所を把握しています。その箇所をすべて対応できるだけのポンプを用意しています。北1号川についても市で用意しているポンプと発電機を持って行って排水対応するような体制が整っています。ポンプの常設には小屋や電源など多額になります。現在はポンプを自前で用意し、</p>

<p>○東中学校の2学年の人数が82人で2クラスになったが、1クラス41人学級だと教室が非常に狭い、参観日に行っても入れない。1クラスの人気は基準があると思うが、教室の空間にゆとりがなく学習環境が悪い。他の市町村によっては学級の人数を減らしていく取り組みも聞いたことがある。</p> <p>○西中学校は図書館で勉強ができるが、冬は東中学校から図書館に行くのは遠いので、冬に勉強する場所として、ふれあいセンターを開放してほしい。</p> <p>○北1号川4線道路から黄金通までの間に横断歩道がない。子どもたちは東部児童センターや平間商店に行くことが多く、横断歩道がない場所を渡る子どもも多い。信号もないのでスピードを出す車も多い。横断歩道を1箇所でも設置してもらいたい。</p>	<p>すぐに排水できる体制を整えています。</p> <p>○学級の人気は国や道の配置基準のなかで先生の確保も含めて設置しています。今後、そうしたことが考えられるのであれば、通学区域の変更も含めて調整していく必要があると思いますが、子どもたちは激減していきますので、学校と連携しながら考えていきたいと思っています。</p> <p>○ふれあいセンターの利用状況を確認し、内部で協議したいと思っています。少し時間をいただきたいと思っています。</p> <p>○横断歩道は公安との協議になりますので、担当と話をして返事をさせていただきます</p>
--	---

【市長 閉会のあいさつ】

2時間にわたって市側の説明を熱心にきいていただき、関係する部分について貴重なご意見をいただきうれしく思っています。JRの関係では、貨物や旅客、観光について、それぞれ意見をいただきました。庁舎の関係では、建設位置や負債、コンパクト化のあり方。地域課題では会館のありようについても意見をいただき、これから取り組もうとしていることの参考にし、このあとのまちづくりに資するよう、努力をしていきたいと思っています。

また、地域の課題については、子どもの関係のほか、停電による災害の意見も多くありました。停電は夏の終りころに発生したことで、災害ではありましたが不幸中の幸いで、冬だとどうなっていたのかという意見もいただきました。その備えをしていきたいと思っています。

JRと庁舎に加えて、医療も地域づくりにとって大変重要です。このことも貴重なご意見をいただきました。担当から説明がありましたが、その他にも取り組みをすすめているものもあります。医療はまちづくりの基本と捉えていますので、今日いただいたみなさんの気持ちを届けられるように努力をしていきたいと思っています。

今日の地域懇談会がすべてではありません。このあと、少子高齢社会や人口減少、働き手不足の時代のなかで、どのように対応していくのか、またご意見をいただければと思います。市長室トークや出前トークという取り組みもありますので、このあとも市政にご意見を寄せていただきたいと思います。

市政の課題を解決するためには、みなさんのご意見をいただきながら、満足度の高いまちづくりに仕上げていくことが役割だと思っていますので、今後とも市政に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
29歳以下	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内遊技場を求める声が多くあることはわかるが、その代替案として、屋外の公園を徐々にリニューアルしていることを知らせれば良いと思う。 ・市民にとって、自分の地域以外の公園に関する情報を得る手段は、口コミ以外にないと思う。
40-49歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野-滝川間は一番赤字も大きいので廃止すべき。札幌に行きたい場合は旭川まわりで行く ・富良野-新得間は無くせない。
40-49歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・JR維持には金がかかりすぎる。将来の負担を考えると今決断すべきで廃線やむなしバス転換。農産物はJAでしっかり検討してほしい。 ・新庁舎も同様に今判断すべき、すべての要素を考慮すると早期建て替えが望ましい。 ・ブラックアウト時は庁舎の機能が停止していたようだが、電源確保も重要。災害に強い庁舎づくり、にぎわいのある庁舎づくりをしてほしい。
50-59歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・他のJR各社に比較して人口、交流人口が少なすぎで元々無理。JR北海道の自助努力レベルは超えている。国レベルで考えないと無理。 ・上下分離で道路と同様にすべき（国が残したいのなら）。市民の多くは利用していない。
70歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・JRを利用しない人の意見は空回り、利用してみると乗り換え時間は全く不便。滝川まで来て待ち時間3時間半はバス利用になっても仕方ない。 ・運転免許を80歳で返還すると市役所へ徒歩で40分かかる。老人世帯は市役所への足を考えてほしい。ハイヤー往復はきつい。バスは麻町に行っているが、走るコースは一方向だけでなく、反対周りも走ってほしい
70歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は2階建てで良い。